

- 問1 北海道における外国人宿泊客数の月別統計を見ると、1月から3月にかけての時期に数値が大きく上昇するという特色があります。この時期に観光客が多く訪れる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. パウダースノーと呼ばれる良質な雪でのスキーや、雪まつりなどの行事を目的に訪れるため。 | 2. 秋の紅葉シーズンに合わせ、新幹線を利用して広大な農地の収穫風景を見学に来るため。 | 3. 本州よりも早く開花するサクラの鑑賞や、春の大型連休を利用した旅行者が増えるため。 | 4. 梅雨がなく、ラベンダーなどの花々が満開になる夏の涼しい気候を避暑目的で好むため。 |
|---|---|---|---|
- 問2 北海道の室蘭などで発展した鉄鋼業の歴史的背景と、現在の産業構造の変化について述べた文として、背景や理由が正しく説明されているものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 道内産の豊富な石炭や鉄鉱石を背景に発展したが、現在は輸入原料への依存を強め、自動車部品用の特殊鋼など付加価値の高い製品に注力している。 | 2. 複雑な海岸線を利用した観光業と両立させるため、環境負荷の低い小規模な石炭火力を維持しながら、特殊鋼ではなく汎用的な建築用鋼材を主に生産している。 | 3. 明治時代の北海道開拓に伴い、農業機械の自給を目的として鉄鋼業が興されたが、現在は周辺国との競争に敗れ、すべての製鉄所が閉鎖されている。 | 4. もともと海外からの輸入原料を加工するために砂嘴の地形を利用して港を整備したが、現在は造船業が衰退し、製造品出荷額の大半が食品工業となっている。 |
|--|---|--|--|
- 問3 世界自然遺産にも登録されている鹿児島県の屋久島では、樹齢1000年を超える屋久杉などの貴重な生態系を維持するため、エコツーリズムの考え方が取り入れられています。この取り組みにおいて、観光地が果たすべき役割として最も適切な説明はどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 自然環境を維持するために、観光客の立ち入りを一切禁止し、人の影響を完全に排除する。 | 2. 大型の宿泊施設や道路を整備し、一度にできるだけ多くの観光客を呼び込むことを最優先する。 | 3. 木道などを整備して観光客が自然を体験できる場を提供しつつ、環境への負荷を最小限に抑える。 | 4. 地域の景観をより華やかにするため、もともとその土地になかった外来種の植物を植えて整備する。 |
|--|--|---|--|
- 問4 北海道の日本海側から太平洋側にかけての地形断面図を分析したとき、中央部の険しい山地を挟んで西側と東側に位置する平野の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 西側に根釧台地、東側に十勝平野 | 2. 西側に十勝平野、東側に石狩平野 | 3. 西側に石狩平野、東側に根釧台地 | 4. 西側に石狩平野、東側に十勝平野 |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
- 問5 日本の酪農において、北海道は大消費地から離れているという地理的条件に対応するため、生産された生乳の多くをある形態に変化させて出荷しています。この形態と、その主な製品の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|------------------------|-------------------|------------------|
| 1. 加工用 — パターやチーズ | 2. 地場消費用 — ヨーグルトや生クリーム | 3. 飲用 — 牛乳やコーヒー牛乳 | 4. 輸出用 — 脱脂粉乳や練乳 |
|------------------|------------------------|-------------------|------------------|
- 問6 北海道の東部、釧路から中標津にかけて広がる、数十キロにわたって牧草地や牧場が続く大規模な農業地域を何といいますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 石狩平野 | 2. 上川盆地 | 3. 十勝平野 | 4. 根釧台地 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 十勝平野における大規模な畑作では、同じ耕地において数年周期で栽培する作物を変える工夫がなされています。このような栽培方法を取り入れている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 特定の作物を連続して栽培することで起こる連作障害を防ぎ、土地が持つ生産力である地力を維持するため | 2. 冷害による被害を最小限に抑えるため、寒さに強い作物だけを特定の広い区画に集めて単一栽培するため | 3. 政府による米の生産調整に対応するため、もともと水田だった土地を畑に作り変えて別の作物を栽培するため | 4. 冬の積雪期間を有効に活用して、同じ土地から一年のうちに二度の収穫を行い、農家の所得を増やすため |
|---|--|--|--|
- 問8 北海道の内陸部における気温や降水の特徴を説明した内容として、正しいものはどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 暖流である対馬海流の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖であり、雪が降ることは稀である。 | 2. 季節風の影響で冬に降水量（降雪量）が集中するが、海に囲まれているため一年を通じて気温の変化は小さい。 | 3. 海の影響を受けにくいいため、夏と冬の気温差（年較差）が非常に大きく、冬の月平均気温は氷点下になる。 | 4. 一年を通じて降水量が多く、特に夏から秋にかけては台風の影響を頻繁に受けるため、年平均気温が高い。 |
|--|---|--|---|
- 問9 日本には、知床、白神山地、屋久島、小笠原諸島、奄美大島・徳之島・沖縄島北部及び西表島の5つの世界自然遺産があります。これらが位置する北海道、青森県、秋田県、鹿児島県などの道県のうち、青森県（青森市）、秋田県（秋田市）、鹿児島県（鹿児島市）のように県名と県庁所在地名が一致する自治体がある一方で、北海道は名称が異なります。世界自然遺産である知床を有し、道庁所在地が置かれている都市の名称を答えなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 青森市 | 2. 秋田市 | 3. 鹿児島市 | 4. 札幌市 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問10 北海道の東部に位置する根釧台地などの寒冷な地域において、乳牛を飼育して生乳や乳製品を生産する農業を何といいますか。牧草などの飼料生産と組み合わせされていることが特徴です。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|---------|
| 1. 放牧 | 2. 酪農 | 3. 促成栽培 | 4. 果樹農業 |
|-------|-------|---------|---------|
- 問11 北海道の東部に位置し、その東側に国後島を望むことができる半島は、独自の生態系が維持されていることからユネスコの世界自然遺産に登録されています。この地域の説明として正しいものはどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 知床半島では、流水がもたらす栄養分を基点とした海と陸の食物連鎖が見られ、ヒグマや希少な猛禽類などの野生動物が保護されている。 | 2. 下北半島では、日本最北端の地として知られる岬があり、野生のニホンザルの生息地として世界自然遺産に登録されている。 | 3. 能登半島では、複雑な海岸線を利用した漁業と、伝統的な農法が一体となった世界自然遺産としての景観が維持されている。 | 4. 根室半島では、広大な釧路湿原とつながるラムサール条約登録地として、タンチョウの繁殖地を保護する取り組みが行われている。 |
|---|---|---|--|
- 問12 日本の乳牛飼育において、飲用として出荷される牛乳の生産地が、千葉県、神奈川県、愛知県といった大都市の周辺に多く見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 法律によって、飲用牛乳は消費地と同じ地方自治体の中で生産・処理しなければならないと定められている。 | 2. 飲用牛乳は加工用生乳に比べて重量が軽く、輸送コストがほとんどかからないため、あえて都市部で生産されている。 | 3. 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。 | 4. 大都市の周辺は北海道に比べて土地代が安く、乳牛を放牧するための広大な土地を確保しやすい環境にある。 |
|--|--|--|--|